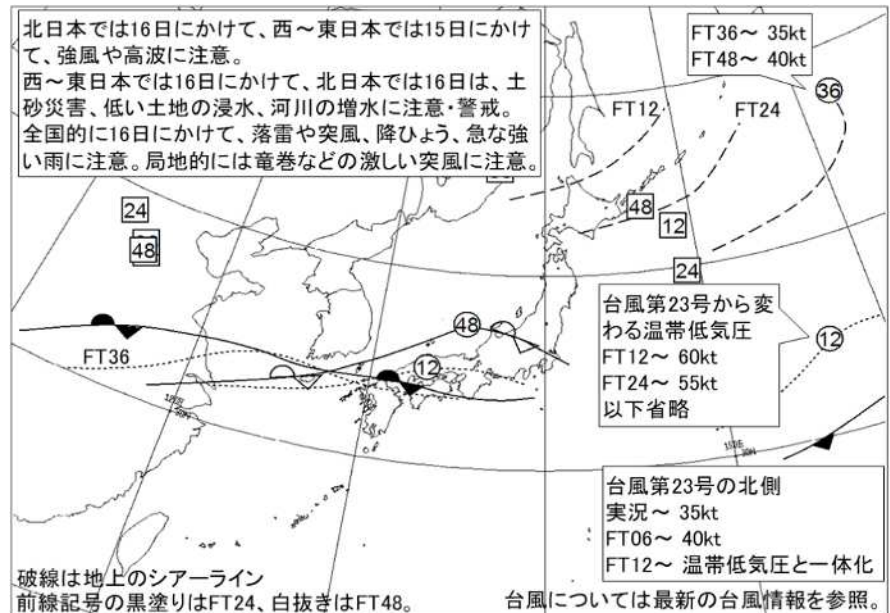


短期予報解説資料 2025年10月14日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5760m付近の正渦度極大域に対応して、前線が華中～西日本日本海側にのびている。前線上の日本海西部には低気圧があって、東北東進。前線や低気圧近傍の西日本日本海側で雷を多数検知し、激しい雨を解析している所がある。
- ② 強い台風第23号が日本の東にあって、東進。東～北日本の太平洋側では、台風からのうねりで波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、15日にかけて西～東日本を南下する。低気圧は14日夜には西日本日本海側へ進みその後不明瞭になる。16日は500hPa 5820m付近のトラフに対応して、前線は再び北上し、16日朝までに前線上の日本海中部に低気圧が発生し、発達しながら16日夜には三陸沖へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本では16日にかけて、北日本では16日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。南西諸島では16日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。また、前線と大陸の高気圧の間や低気圧周辺で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くなる所がある。西日本日本海側では15日にかけて、東北地方では16日は、強風や高波に注意。
- ② 1項②の台風は、日本のはるか東に進み14日夜までに温帯低気圧となる。台風からのうねりの影響で、波が高くしけとなる所がある。東～北日本太平洋側では15日にかけて、うねりを伴う高波に注意。
- ③ 500hPa 5460m付近で-27℃以下の寒気を伴うトラフに対応し、地上のシアーラインが、15日にかけて北海道地方を南下する。シアーラインに向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。北日本では15日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間):多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで):東北・関東・伊豆諸島・中国・九州北部3m。
- ③ 高潮(明日まで):西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。